



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 ニッコンホールディングス株式会社
 コード番号 9072 URL <http://www.nikkon-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒岩 正勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 忝田 泰典

TEL 03-3541-5330

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	101,416	6.3	10,954	23.8	11,707	19.9	9,226	40.5
2019年3月期第2四半期	95,367	4.1	8,849	1.8	9,763	0.2	6,564	6.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 7,291百万円 (16.7%) 2019年3月期第2四半期 6,245百万円 (27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	139.94	139.45
2019年3月期第2四半期	97.66	97.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	285,519	190,393	66.5
2019年3月期	294,213	186,900	63.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 189,864百万円 2019年3月期 186,338百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		32.00		35.00	67.00
2020年3月期		38.00			
2020年3月期(予想)				38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	3.7	21,500	7.3	23,000	4.5	16,600	12.4	252.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理を適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	68,239,892 株	2019年3月期	68,239,892 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	2,506,139 株	2019年3月期	1,943,839 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	65,928,053 株	2019年3月期2Q	67,216,831 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な国内需要により緩やかな回復基調で推移しているものの、米中通商摩擦の長期化に加え、中国の景気減速など各国の政治政策動向及び地政学的リスクの高まり等により、先行きの不透明感が増しております。

物流業界におきましては、慢性的な人手不足や競争の激化などにより依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループはこのような経営環境のもと、滋賀県長浜市、熊本県菊陽町、三重県いなべ市、タイ国に倉庫を新增設するなど、積極的な設備投資や営業活動を行ってきた結果、売上高は前年同期比6.3%増の1,014億16百万円となりました。

営業利益につきましては、増収効果や業務の効率化などにより前年同期比23.8%増の109億54百万円となりました。

経常利益につきましては、営業利益の増加があったものの為替差損の発生などにより前年同期比19.9%増の117億7百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益及び固定資産売却益の計上などにより前年同期比40.5%増の92億26百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 運送事業

貨物取扱量の増加により、売上高は前年同期比6.3%増の476億87百万円となりました。営業利益は輸送効率の向上に加え燃料価格の低下などもあり、前年同期比31.7%増の29億77百万円となりました。

② 倉庫事業

保管貨物量の増加により、売上高は前年同期比9.6%増の154億3百万円となりました。営業利益は増収効果などにより、前年同期比21.1%増の37億78百万円となりました。

③ 梱包事業

業務量の増加により、売上高は前年同期比5.8%増の240億53百万円となりました。営業利益は業務の効率化などにより、前年同期比9.2%増の18億62百万円となりました。

④ テスト事業

業務量の増加により、売上高は前年同期比5.5%増の112億90百万円となりました。営業利益は増収効果や業務の効率化などにより前年同期比32.4%増の21億49百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は616億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億60百万円減少いたしました。これは主に有価証券が90億34百万円、受取手形及び売掛金が9億9百万円それぞれ減少した一方、現金及び預金が22億87百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,238億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億32百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が34億79百万円減少した一方、有形固定資産が27億93百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,855億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ86億93百万円減少いたしました。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は423億円となり、前連結会計年度末に比べ91億57百万円減少いたしました。これは主に営業外電子記録債務が58億99百万円、その他のうちの未払金が18億43百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は528億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億29百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が19億35百万円、繰延税金負債が7億14百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は951億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ121億86百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,903億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億93百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が68億83百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が15億52百万円減少、自己株式が14億18百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.5%（前連結会計年度末は63.3%）となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は186億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて75億99百万円減少しました。

営業活動の結果得られた資金は121億91百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ16億99百万円増加しました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益が37億93百万円増加した一方、減少要因として固定資産売却益が8億26百万円、投資有価証券売却益が9億40百万円、法人税等の支払額が7億15百万円それぞれ増加したことによるものであります。

投資活動の結果支出した資金は127億45百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ52億37百万円増加しました。これは主に、増加要因として有形固定資産の取得による支出が66億90百万円増加、定期預金の払戻による収入が58億81百万円減少した一方、減少要因として定期預金の預入による支出が47億49百万円減少、投資有価証券の売却による収入が14億89百万円、有形固定資産の売却による収入が9億44百万円それぞれ増加したことによるものであります。

財務活動の結果支出した資金は60億87百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ8億82百万円増加しました。これは主に自己株式の取得による支出が6億85百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日に発表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により記載の予想の数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,940	19,227
受取手形及び売掛金	33,389	32,480
電子記録債権	3,711	3,697
有価証券	10,276	1,241
商品及び製品	5	9
原材料及び貯蔵品	429	543
その他	4,663	4,456
貸倒引当金	△15	△17
流動資産合計	69,401	61,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	84,936	86,018
機械装置及び運搬具(純額)	8,540	8,684
工具、器具及び備品(純額)	1,422	1,458
土地	91,226	92,338
リース資産(純額)	262	241
建設仮勘定	3,921	4,363
有形固定資産合計	190,310	193,104
無形固定資産		
投資その他の資産	1,937	1,816
投資その他の資産		
投資有価証券	23,542	20,062
長期貸付金	533	885
繰延税金資産	3,646	3,587
その他	4,942	4,524
貸倒引当金	△100	△101
投資その他の資産合計	32,563	28,957
固定資産合計	224,811	223,878
資産合計	294,213	285,519

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,330	11,370
電子記録債務	4,401	4,233
短期借入金	3,905	3,905
リース債務	115	110
未払法人税等	3,927	3,970
賞与引当金	3,860	4,085
役員賞与引当金	196	100
設備関係支払手形	1,585	974
営業外電子記録債務	8,266	2,366
その他	13,868	11,183
流動負債合計	51,458	42,300
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	22,616	20,681
リース債務	172	152
繰延税金負債	5,332	4,617
退職給付に係る負債	5,699	5,574
役員退職慰労引当金	303	339
その他	1,728	1,459
固定負債合計	55,853	52,824
負債合計	107,312	95,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,316	11,316
資本剰余金	12,332	12,332
利益剰余金	158,372	165,256
自己株式	△4,767	△6,186
株主資本合計	177,253	182,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,291	8,739
為替換算調整勘定	△375	△891
退職給付に係る調整累計額	△831	△701
その他の包括利益累計額合計	9,084	7,145
新株予約権	354	320
非支配株主持分	208	208
純資産合計	186,900	190,393
負債純資産合計	294,213	285,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	95,367	101,416
売上原価	81,705	85,408
売上総利益	13,662	16,008
販売費及び一般管理費	4,813	5,054
営業利益	8,849	10,954
営業外収益		
受取利息	50	57
受取配当金	315	364
受取賃貸料	42	46
持分法による投資利益	296	277
為替差益	69	—
雑収入	268	324
営業外収益合計	1,041	1,070
営業外費用		
支払利息	84	88
為替差損	—	129
雑支出	42	99
営業外費用合計	127	317
経常利益	9,763	11,707
特別利益		
固定資産売却益	50	849
投資有価証券売却益	—	940
特別利益合計	50	1,790
特別損失		
固定資産売却損	37	9
固定資産除却損	89	6
減損損失	0	0
その他	—	0
特別損失合計	127	16
税金等調整前四半期純利益	9,687	13,480
法人税等	3,120	4,248
四半期純利益	6,566	9,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,564	9,226

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	6,566	9,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△974	△1,552
為替換算調整勘定	571	△498
退職給付に係る調整額	112	129
持分法適用会社に対する持分相当額	△30	△19
その他の包括利益合計	△320	△1,940
四半期包括利益	6,245	7,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,244	7,287
非支配株主に係る四半期包括利益	1	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,687	13,480
減価償却費	4,640	4,969
賞与引当金の増減額 (△は減少)	230	226
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△84	△96
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	130	70
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△11	35
受取利息及び受取配当金	△365	△421
支払利息	84	88
持分法による投資損益 (△は益)	△296	△277
固定資産売却損益 (△は益)	△13	△839
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△940
売上債権の増減額 (△は増加)	1,192	823
その他の資産の増減額 (△は増加)	△198	348
仕入債務の増減額 (△は減少)	△484	△126
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,225	△2,073
その他	△49	176
小計	13,236	15,447
利息及び配当金の受取額	834	1,041
利息の支払額	△85	△88
法人税等の支払額	△3,494	△4,209
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,491	12,191
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,078	△328
定期預金の払戻による収入	6,351	470
有価証券の取得による支出	△497	△817
有価証券の売却による収入	—	822
有形固定資産の取得による支出	△8,173	△14,864
有形固定資産の売却による収入	101	1,046
無形固定資産の取得による支出	△57	△50
投資有価証券の取得による支出	△16	△72
投資有価証券の売却による収入	—	1,489
貸付けによる支出	△23	△492
貸付金の回収による収入	47	52
関係会社株式の取得による支出	△163	—
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,507	△12,745

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	181
短期借入金の返済による支出	—	△171
長期借入金の返済による支出	△1,900	△1,946
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	—	5,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	—	△5,000
自己株式の取得による支出	△788	△1,474
配当金の支払額	△2,358	△2,320
非支配株主への配当金の支払額	△8	△7
その他	△149	△348
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,205	△6,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	201	△147
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,019	△6,788
現金及び現金同等物の期首残高	28,302	25,231
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	241
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,283	18,684

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	44,845	14,055	22,740	10,698	92,339	3,027	95,367
セグメント間の内部 売上高又は振替高	159	175	171	0	507	1,036	1,543
計	45,004	14,231	22,911	10,699	92,846	4,063	96,910
セグメント利益	2,260	3,120	1,705	1,623	8,710	180	8,891

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,710
「その他」の区分の利益	180
その他の調整額(注)	△41
四半期連結損益計算書の営業利益	8,849

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	47,687	15,403	24,053	11,290	98,435	2,981	101,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	140	176	207	2	526	1,038	1,564
計	47,827	15,580	24,261	11,292	98,961	4,019	102,981
セグメント利益	2,977	3,778	1,862	2,149	10,767	235	11,002

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,767
「その他」の区分の利益	235
その他の調整額(注)	△48
四半期連結損益計算書の営業利益	10,954

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。